

慈恩寺 Times

第39号

【発行】
寒河江市慈恩寺振興課

【発行日】
令和3年7月20日(火)

【問合せ・ご意見等】
寒河江市慈恩寺振興課
TEL:0237-85-1487

E-mail:jionjishinko@city.sagae.yamagata.jp

慈恩寺テラス来館者が30,000人を越える



約3m×20mの大型円形スクリーンに迫力かつ美しい4K映像を映し出す「慈恩寺シアター」

国史跡慈恩寺旧境内の魅力と価値を分かりやすく紹介する施設「慈恩寺テラス」が開館してから2か月半が経ちました。これまでの来館者数は30,000人を越え、一日平均400人以上が来館する順調な滑り出しとなっています。

慈恩寺テラスの目玉の一つである「慈恩寺シアター」を見た方は、「仏像の色彩や紋様など、肉眼ではわからない細かい部分まではっきりと見ることができました。美しさに感動します。」と驚きの表情で語ってくれました。



約4m×4mの巨大地形模型に、プロジェクションマッピングを投影し慈恩寺の歴史等を解説する「慈恩寺時空トラベル」

また、もう一つの目玉である巨大地形模型プロジェクションマッピング「慈恩寺時空トラベル」を見た方からは、「慈恩寺の起伏に富んだ地形がよくわかる。模型の上を滑らかに動く映像を見るだけでも楽しい。」といった声が聞かれました。

慈恩寺テラスには「寺そば・寺カフェ」や芝生広場も併設していますので、食事や休憩などにもご利用いただけます。



暗闇の中に浮かぶ本堂。他にも薬師堂、天台智者大師堂など、全部で7つの建物をライトアップ

夜のプレミアム拝観

本山慈恩寺では毎週土曜日の夜に、本堂、三重塔、山門のほか、境内全ての堂舎をライトアップ中です。日中には見ることができない、境内の神秘的な美しさをご堪能ください。敵かな雰囲気の中で、本堂内の拝観もできます。期間は10月30日までの土曜日。時間は日没後から午後9時頃まで。

- 開館：9時から17時 第二火曜定休
 - 入場：無料
 - 営業時間：寺そば 11時から14時
寺カフェ 10時から16時
- 寺そば・寺カフェは火曜定休

慈恩寺十景詩の世界を歩く

中世に詠まれた慈恩寺十景詩の地を巡るウォーキングイベントが、5月9日に行われました。あいにくの雨にも負けず、参加者たちは元気に慈恩寺テラスを出発。笹竹などを刈り取り、整備された仁王坂をのぼり、展望休憩所から田園風景を眺めて一息つくくと、参加者からは「晴れている時の、良いお散歩コースになりそうだね」といった声も聞こえてきました。

境内では稚児桜が雨の中しっとりと満開を迎えており、一同お参りしてから山道へ。



景色を眺めながら休憩できる展望休憩所

山野草の咲いているポイントではその説明があり、十景詩が詠まれたであろうポイントでは詩の朗読も披露されました。折り返し地点の山王台へ近づく頃に天候も回復。山王台の展望台では手作りの「スミシの砂糖漬け」と「クロモジ茶」がふるまわれ、素朴で清涼感のある味わいに参加者は、「汗を流した後は最高」と喜んでいました。



スミシの砂糖漬けとクロモジ茶

実施主管の悠久の里慈恩寺運営委員会の方のお話によると、草刈などの山の整備をする事によって、最近また見られるようになった山野草もあるとのこと。歴史も植物などの自然の営みも、人の手による的確な手助け（整備）があってこそ守られていくのだ

と感じます。

慈恩寺テラスに戻ると、明治時代の一山絵図を見ながら、今日行ったコースを振り返る参加者の様子が見られました。



新山堂跡でガイドの説明を聞く参加者

十二神将ラッピング車両

JR左沢線では、慈恩寺の佛像の中でも特に人気の高い十二神将の姿をラッピングした車両を運行しています。十二神将は、病氣平癒の願いを集める薬師如来と信仰する者を守護するといわ

れます。病魔を睨みつけるかのような憤怒の表情を見せる十二神将を、一度ご覧になってはいかがでしょうか。左沢線の日17〜19本のうちラッピング車両の運行は5往復ほど。運行期間は10月31日までの予定で、運行時刻は不定期。

